

情報・プラットフォーム



Made in Kochi を全国・海外へ!

特集：ものづくり地産地消・外商センターの取り組み

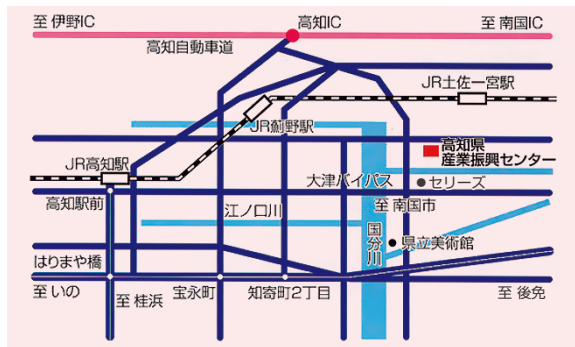


高知家のものづくりを全力で応援します！

C O N T E N T S

目次

■【特集】ものづくり地産地消・外商センターの取り組み	
■ 事業戦略策定・実行支援	01
■ 第9回ものづくり総合技術展終了報告	04
■ 見本市サポート	08
■ 海外展開支援	09
■ こちら高知県働き方改革推進支援センターです	10
■ 工業技術センターだより	11
■ 独立行政法人情報処理推進機構(IPA)からのお知らせ	12
■ INFORMATION	13



公益財団法人高知県産業振興センター

〒781-5101 高知市布師田3992-2 高知県中小企業会館2F

TEL : 088-845-6600

FAX : 088-846-2556

高知県働き方改革推進支援センター(1F)

☎ 0120-899-869 (高知・幡多共通)

(幡多出張所: 四万十市中村小姓町46)

よろず支援拠点(5F)

TEL : 088-846-0175

■ 総務企画部

- センターの管理・運営
- 高知ちばさんセンターの貸出(外部委託)

■ 経営支援部

- 中小企業の経営課題に関する窓口相談
- 基金を活用した助成
- 起業・創業への支援
- 高知県地場産業大賞による顕彰
- 中小企業者等の研究開発の支援
- ITを活用した販路拡大等の情報化支援
- 企業のIT相談窓口
- 賛助会員事業
- 情報誌の発行

■ 高知県働き方改革推進支援センター(1F)

- 来所、電話等による働き方改革に関する個別相談やセミナーの開催

■ よろず支援拠点(5F)

- 中小企業・小規模事業者のワンストップ総合支援

〈ものづくり地産地消・外商センター〉

■ 地産地消推進部

- 「ものづくり」に関する総合相談窓口
- 「ものづくりの地産地消」の推進
- ものづくり総合技術展の開催
- 事業戦略の策定・実行支援
- 事業化プランの作成・実行支援

■ 外商部

- ものづくり企業の外商支援
- 見本市への出展支援
- 技術の外商支援、受発注取引商談会の開催
- 防災関連産業の外商支援
- 県外・海外への販路開拓支援

■ 東京営業本部

- 首都圏等におけるものづくり企業の外商支援



東京営業本部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-3
内幸町ダイビル8F

TEL : 03-6452-8830

FAX : 03-6452-8831



大阪事務所

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町2-6-8 センパ
セントラルビル1F 高知県大阪事務所内

TEL : 06-6244-7934

FAX : 06-6244-7933



名古屋事務所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-16-8
栄メンバーズオフィス8F 803号室

TEL/FAX : 052-684-4904

事業戦略策定・実行支援 ～新たな時代、企業が生き残るための戦略とは～

高知県産業振興センターでは平成28年度から企業の経営ビジョンを実現する「事業戦略」の策定・実行支援を行っています。これまでに県内202社が5年間の中期戦略を策定し日々計画の実現に向けて取り組まれています。

今回は、新型コロナウイルスの拡大など大きく変化し続ける時代において企業がこれから取るべき戦略について、事業戦略策定・実行支援に携る、高知県産業振興センター 山瀬 純一、渡部 正二両戦略支援統括と、明星大学経営学部教授 安岡 寛道氏にお話を伺いました。（※対談の内容は12月末時点の内容となっています）

○事業戦略を策定している県内企業の現在の状況は？

山瀬：担当している企業では、ごみ処理など環境事業と関係のある企業は市場にコロナの影響がほとんどないことから好調に推移している。一方で、その他の県内受注企業の多くは、県内外の各メーカーが発注を減少させたことで落ち込んでいる。製紙業はコロナの影響を大きく受けており、BtoB向けのトイレットペーパーやティッシュなどのみを製造している企業は軒並み落ち込みが激しい状態となっている。また、ウェットティッシュなどを製造している企業はこれまで好調に推移していたが、新規参入企業が増えたことや各社の生産量が増加したことで市場が供給過多となっており先行きは不透明な状態となってきている。

渡部：私の担当企業では、観光客の減少や人々の外出自粛、営業自粛などによる悪い影響を受ける企業と、調理用品やガーデニング関連、室内で遊べる木製玩具など、巣ごもり需要をうまく取り込み業績を伸ばしている企業と2つに分かれている。また、インバウンド需要が大きく落ち込んだことで付加価値の高い商品の販売が減少し、コロナ特需はあったものの業績が悪化している企業もある。

県内企業の特徴としては、エンドユーザーとの間にメーカーや元請企業などがある企業が多いため、首都圏の動向からは少し遅れて影響が現れている。

安岡：製造業に限って言えば、東京では第1波に続き第2波、第3波と落ち着くことなく連続で波が来ている。高知は第1波以降、比較的落ち着いた時期が続いたため首都圏に比べると、途中までは影響が比較的少なかったのではないかという印象はある。

数字的に見ると事業戦略支援会議（※1）でも報告があったように、**事業戦略を持つ企業の15%は好調に推移する一方で、50%の企業は悪化、残り35%の企業は生き残るためにアイデアを出しながら業績を維持している**。今後の新型コロナによる影響を検討する際は、業種全体で見た場合、高知県は首都圏よりも約1カ月程度遅れて影響が出ているため、先行指標的に首都圏の企業動向を見てもらうとよい。ただし、高知県内の飲食、小売業については県内のコロナ感染状況が落ちつくまでの2～3カ月間は底付き感が続くかと予測している。



※1:事業戦略支援会議の様子。会議では、戦略支援統括と専任担当者による四半期ごとのPDCA支援状況や業界別の市場動向を踏まえながら、個別企業の方向性に合わせた具体的なアドバイス内容の決定や進捗管理を実施しています。

○企業を取り巻く環境は変化し続けていますが、今企業がすべきことは？

山瀬：コロナ関係で言うと、内部留保がある企業に限るが、手が空いている今こそ5S、生産工程の見直し、デジタル化への挑戦、設備投資などAfterコロナに向けて社内や生産体制を強化していくことが必要とアドバイスをしている。また受注企業については、新しい取引先を開拓するチャンスでもあると捉えた方がいいと考えている。

渡部：小売りや飲食業は、感染が落ち着くまでネット販売やテイクアウトなど今できることを取り組みながら、出費をできる限り抑制し耐えるしかないのが正直なところ。ただ、テイクアウトも限界があり非常に厳しいので、完全個室や利用できる人数を制限するなど、きちんとコロナ対応に取り組んでいることをPRし、最近増加して来ている家族など限られた集団での外食ニーズを取り込むことは有効だと思う。製造業に関しては今までネットに対して懐疑的だったが、問い合わせに対してネットで商談するという事例が最近増えてきている。今までは対面営業が全てで、ネットはちょっと…という感覚を持っている人が多かったが、今は新しい生活様式の一環として業種に関係なくネットを活用した営業活動は積極的に取り入れていくことが必要。出張しないで商談ができるということは、経費や移動時間が無くなり非常に効率が上がる。そういった変化した環境の中でどうやって生き残るかということが今後絶対に必要になり、効率化を考えたときにデジタル化というものが選択肢の一つになる。

山瀬：インフラさえ整ってれば、山の中で仕事をしていても都会にいるのとなんら変わらない世界に徐々になってきたものが、このコロナ禍で一層加速している。今後は高知でもネットに力を入れていかないと生き残っていけない気がしている。

安岡：6月以降に県内企業を訪問させてもらうと、Zoomでの対応もまだやったことがない企業が



山瀬 純一

1970年日立製作所入社、国内外で設計から企画・製造・マーケティングなど様々な分野に従事。2014年～高知県産業振興センター勤務。現在は、戦略支援統括として、主に機械系製造企業、県内受注企業、製紙企業の戦略策定・実行支援や数々の製品開発支援に携わっている。

渡部 正二

1983年SONY(株)入社、一眼レフカメラ“α”シリーズの導入や、Walkmanを含むオーディオ商品の企画等に従事。2013年アマゾンジャパンに入社、アマゾンオリジナル商品、販路限定商品の開発等に従事。2016年～高知県産業振興センター勤務。現在は、戦略支援統括として、製造業に加え、観光・小売・飲食など様々な企業の戦略策定・実行支援に携わっている。



多くあった。そういった点でも、高知県はコロナ以降の9カ月間、日本全体の動きに対して正直遅れを取っているという印象がありもったいない。時代は急速に進んでいるので、「今」ではなく、「この先どうなるか」を常に考えておかないと後れを取る企業となってしまう。今後社会がどうなっていくかをイメージすることはそんなに難しいことではないので、少し考えてもらって、そこにどうやってビジネスモデルを合わせていくかということが大事。例えば、「SDGsと言われているから、あるいは、ネット通販が流行っているから、それをやりましょう！」ではすでに遅れていて、皆に知られた時点ですでにそれらは必要最低条件となっている。首都圏の上場企業の中には、今コロナで大変な時期だが、各国でワクチン接種が始まりコロナ禍の山頂が見え始めたことで、すでにその後の戦略をどうするか考えようという意識にシフトしてきているところもある。今も、もちろん大変な時期だが、もう次に何をすべきか考えていないといけない時期になっている。そうしないといつまでたっても後を追いかける企業になってしまう。また災害などの対応としてよく「BCPの策定を」というが、コロナも災害の一種。大きな自然災害や、今回のコロナのように突然状況が変わることが今後も起こりうる。非常時には時代に合わせて変化する企業が生き

安岡 寛道

高知県出身。中小企業診断士。(株)野村総合研究所、(株)スクウェア(現スクウェア・エニックス)オンライン事業部チーフ、Arthur Andersen Business Consulting(現PwCコンサルティング)マネージャー、再度(株)野村総合研究所にて企業の事業戦略策定などに従事。2020年4月～明星大学経営学部教授に就任。内閣官房、総務省、経済産業省、農林水産省、高知県の各種委員などを歴任。高知県産業振興センターの事業戦略策定・実行支援には2016年の事業立ち上げから参画。



今回の対談は高知県内でコロナ感染が拡大していたため、オンラインにて実施しました。(2020/12/22実施)

残っていくので、通常の戦略の中にオプションとして非常時の戦略を常に持つようにしなければならない。

○今後、企業はどんな戦略を立てるべきか？

山瀬：今までの事業戦略は、どちらかというところまでの延長線上になっている部分があった。今後、企業は延長線上ではなく、マインドを変えていく必要がある。今日の仕事があればいいという人々が多いとマインドは変わらないが、コロナ禍にある今こそマインドを変えられるはずなので、いろんなことにチャレンジしてみる必要があると思う。今はコロナ禍という大きな変革が起こったので、もう一回別の視点で事業戦略を立て直すことが必要。

渡部：ここから5年後、単なる右上がり一直線の計画ではなく、こういう世の中で何を新しく生み出していくかということを考えた戦略にしなければいけないし、今は何か新しいことにチャレン

ジするチャンス。山瀬さんも言ったように、企業を取り巻く外部環境が今までの延長線上でなくなった時どうしていくかということを踏まえて、ゼロから5年後の戦略を考え直すことが必要。

安岡：PEST分析(※2)でいうと、コロナ禍で社会全体や人々は3密の回避など新しい動きをするようになっており、この動きに逆行する取り組みはできなくなっている。海外とのやり取りも減少しているところも多いので、今後取引が戻ってきた際にどういったやり取りが始まるのかということも考えておかなければいけない。大きく状況は変わっているが、事業戦略を立てる際に必要な分析の方法や考え方は変わっていないので、前提条件を変えて再度分析をしてみること。そこから新しい戦略を考えることは、初めて戦略を策定したときのように時間はかからないはず。世の中が変化し策定した事業戦略が合わなくなったからやめようではなく、世の中が変わったことに合わせて自分の会社も変えていくということをして事業戦略にしなければならない。

※2:PEST分析(ペスト分析)とは政治的要因(Politics)、経済的要因(Economy)、社会的要因(Society)、技術的要因(Technology)といった4つの観点からマクロ環境(外部環境)を分析するマーケティングフレームワーク。これら4つの観点から自社にプラス・マイナスのインパクトを与え得る要因を整理し、影響度を評価する。写真は実際にセンターで分析～5年後の計画策定に使用している事業戦略シート。

【事業戦略についてのお問い合わせ】

(公財)高知県産業振興センター内 ものづくり地産地消・外商センター 地産地消推進部 事業戦略課
 □ TEL : 088-845-7110 □ FAX : 088-846-2556 □ 詳細はこちらをご覧ください → → → → → → →



第9回 ものづくり総合技術展 終了報告

高知県及び公益財団法人高知県産業振興センターでは、令和2年11月5日(木)及び6日(金)の2日間、高知ぢばさんセンターで、「第9回ものづくり総合技術展」を開催しました。

今回のものづくり総合技術展は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日程を短縮するとともに、ご当地グルメコーナー、一般・学生の皆様への広報を差し控えるなど規模を縮小しての開催となりましたが、85の事業者の皆様にご出展いただくとともに、3,497人の方々にご来場いただきました。

ご出展・ご来場いただいた皆様に深く感謝申し上げますとともに、内容についてご報告いたします。



開催概要

- 1 名称 第9回ものづくり総合技術展
- 2 開催目的 「ものづくり総合技術展」は、高知県内で「ものづくり」に携わる事業者の皆様へ、優れた技術・製品の紹介や、商談を行う場を提供することで、本県の「ものづくりの地産地消」と「地産外商」を一層推進することを目的とします。
なお、今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日程を短縮するとともに会場への来場者数を一定制限し、WEB（オンライン展示会・商談）も活用した技術展として開催しました。
- 3 開催日時 令和2年11月5日（木）～11月6日（金） 10：00～16：00（2日間とも）
- 4 主催 高知県・公益財団法人高知県産業振興センター（ものづくり地産地消・外商センター）
- 5 会場 高知ぢばさんセンター 〒781-5101 高知県高知市布師田3992-2
- 6 出展者数 8ゾーン 85事業者
- 7 来場者数 11月5日（木） 1,572人
11月6日（金） 1,925人
合計 3,497人
- 8 商談会 技術展の開催に合わせ、2つの商談会事業を開催
県外参加企業数 137社
商談件数 524件



開会式

第9回ものづくり総合技術展の開会に先立ちまして、初日の10時5分から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開会式の規模を縮小して開催しました。主催者として知事の挨拶に始まり、来賓として一般社団法人高知県工業会会長にご祝辞をいただきました。



濱田知事



山崎会長

各コーナー等の紹介

1 出展ゾーン

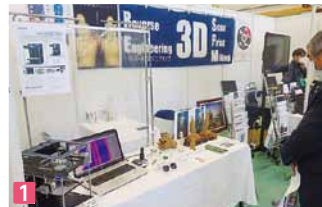
出展内容など、それぞれの特色を活かした8つのゾーンを設定しています。

今回の展示会は、一般来場者および学生への積極的な広報を控えさせていただき、県内の経済回復のための商談に重点を置いて開催いたしました。産業技術ゾーンに19、農林水産技術ゾーンに7、IoT・ICTゾーンに5、防災技術ゾーンに17、食品加工ゾーンに13、住まいと暮らしゾーンに17、屋外展示ゾーンに7、合計85事業者（屋外特設展示ゾーンの出展者含む）にご出展いただきました。



産業技術ゾーン 1

▶ 先端産業機械を中心とした「機械系ものづくり」のエリア



農林水産技術ゾーン 2

▶ 第1次産業が育んだ機器類のエリア



IoT・ICTゾーン 3

▶ モノのインターネットや情報処理に関する技術のエリア



防災技術ゾーン 4

▶ 来たるべき南海トラフ地震に備える防災用品や機器のエリア



食品加工ゾーン 5

▶ 県内各地の特産加工品や加工機器等のエリア

住まいと暮らしゾーン 6

▶ 住まいと暮らしに関する製品のエリア

屋外展示ゾーン 7

▶ 屋外デモンストレーションで真価を発揮する機器等のエリア

屋外特設展示ゾーン 8

▶ 大型機器等の展示のエリア

2 新しい生活様式・新しいビジネス様式提案コーナー

withコロナ時代に向け「新しい生活様式」「新しいビジネス様式」の開発に取り組まれているものづくり事業者の新製品を会場エントランス部分に一堂に展示、コロナと共存していく時代に向けて開発した、Made in Kochi のものづくりをご覧いただきました。



3 リクルートコーナー

人員採用予定のある企業様のパンフレット及び求人リストの掲出並びにホームページにてご紹介をさせていただきました。

また、移住促進・人材確保センター様による就職相談も行いました。



4 相談コーナー

「ものづくり地産地消・外商」「よろず支援拠点」「働き方改革推進支援センター」の相談コーナーを設置し経営に関する相談を承りました。



5 高知県地場産業大賞展示コーナー

高知県地場産業大賞受賞製品・活動を展示しました。

多目的ホール前の展示コーナーは年間を通じて、受賞製品・活動を展示しています。



6 伝統的工芸品等展示コーナー・土佐の匠作品展示コーナー

「伝統的工芸品」として国が指定している「土佐和紙」や「土佐打刃物」、「高知県伝統的特産品」として県が認定している11品目を展示等により紹介しました。

「土佐の匠」は、県内産業の基盤を支え、その振興に貢献している熟練技能や、古くから受け継がれてきた伝統技能の優れた継承者を「土佐の匠」として認定しており、今年度に認定された土佐の匠の作品を展示しました。



新型コロナウイルス感染防止への対策

出展者・来場者が一体となって感染防止策を施すため展示会業界におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン等に沿って対応を行いました。

- 全参加者の安全の確保（マスク着用、手指消毒液設置、飛沫防止対策、会場内の除菌作業）
- 健康と安全対策の促進（検温、発熱等の症状がある場合の入場制限）
- ソーシャルディスタンスの確保等



併設イベント

昨年に引き続き、「第49回高知県教育文化祭児童生徒発明くふう展」「第63回高知県発明くふう展（一般の部）」を併催しました。次代を担う児童・生徒に発明くふうする楽しさと、創作する喜びを体得し、豊かな観察力と創造力を養うことを目的としており、応募のあった作品（児童生徒の部 60点、一般の部 3点）の展示がありました。



アンケートから

会期中、来場者及び「ものづくり総合技術展」出展者、県外招聘企業を対象にアンケートを行い、来場者からは524人、出展者からは85事業者、県外招聘企業からは76社より回答をいただきました。

コロナ禍で規模の縮小等行ったものの、出展者アンケートからは設問の「商談会について満足されましたか」では94%の方が良かったと回答いただき、「今後も商談会の継続を希望しますか」では95%の方が希望すると回答いただきました。「次回、同様の展示会が開催されれば、参加を希望しますか」では88%の方が参加するとの回答をいただきました。

来場者からは「コロナ禍でもこうしたイベントがしっかりと行われていらっしゃる点、感銘をうけました」「コロナのご時世でも開催をしていることに意義がある」「毎年開催することに大きな意味があると思います」とのコメントをいただきました。

県外招聘企業からは設問の「商談について満足されましたか」では、99%の方から良かったと回答いただき、「次回、同様の展示会が開催されれば、参加を希望しますか」では91%の方が参加するとの回答をいただきました。

オンライン展示会

出展者情報をはじめ企業の動画集、リクルート情報、高校生のもので紹介など高知のものづくりをWEBで紹介しました。

閉会後もオンラインで出展事業者の他、県内ものづくり企業の技術・製品などの新たな情報を、動画等で随時発信してまいりますのでぜひご覧ください。

Online ものづくり総合技術展

日本に活力を、
高知家のものでづくり!

今こそ高知家の技術力を結集! 「ものづくり」を全国へ発信。

中核企業に招聘し、高知地域の名産品をリアルタイムで
活用タイププライス 株式会社 YZ SWIRE

株式会社 山崎技研
会社 画像

特長
7層メカトロニクスシステム、サブシステムを統合して高精度加工を実現。集約・集積型で、稼働率が高く、生産性が高い。また、加工精度が高く、加工コストが低減。加工精度が高く、加工コストが低減。加工精度が高く、加工コストが低減。

出展企業の動画集

産業技術ゾーン

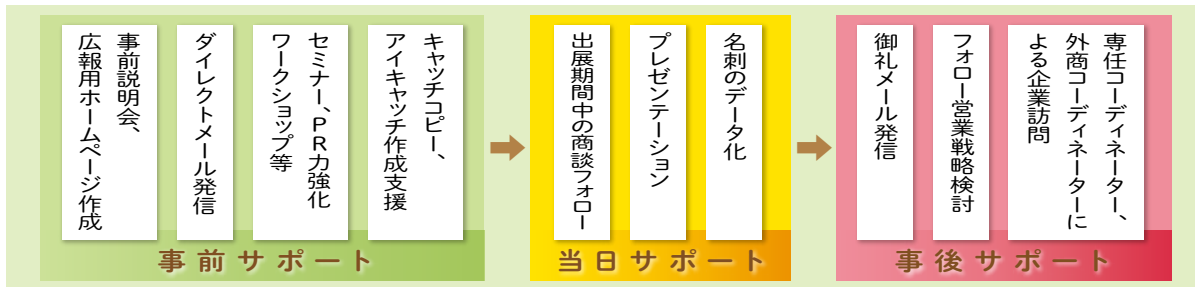
【ものづくり総合技術展についてのお問い合わせ】

(公財)高知県産業振興センター内 ものづくり地産地消・外商センター 地産地消推進部 ものづくり地産地消課
□ TEL: 088-845-7110 □ FAX: 088-846-2556

見本市サポート

▼ 事前・当日・事後 ▼

センターでは、見本市出展をより効果的にするため、出展準備から出展後のアフターフォロー営業まで、トータルでサポートをしています。



効果的な 見本市出展のワンポイントアドバイス

出展前のこれだけはやっておこう

- 目的意識を持つ（名刺交換枚数や商談件数の目標設定）
- 顧客へのDMの発送や出展のお知らせを確実にし、新規顧客の獲得に向け電話や訪問でアポイントを取りつける
- 自社のHPが更新されているか、展示方法や展示物、チラシは効果的になっているかチェック
- 来場者に配布する会社案内や製品サンプル、名刺、封筒の必要数の準備

会期当日の基本マナー

- 待ちの姿勢ではなく、積極的に声をかける
- 名刺交換時は、自己紹介をきっちりする（自分の名前を名乗る）
- 明るい態度・笑顔
- 相手はお客様という態度を常に持つ
- 話すときは明瞭に活舌よく、要点は言葉を強めるなどメリハリをつける
- 商談内容を記録しておくなど、会期後の商談先への対応管理ができるようにする

展示会来場者からの声

良い例

- 「こんにちは」とあいさつをかけてくれた。好印象
- 商品説明もよく、「顧客のために」の気持ちが伝わる
- 社長の姿勢がすばらしい。即対応
- 一生懸命さが伝わってきた
- 全員通路側を向いて立位、お出迎えの印象がよい
- 顧客認知能力がすばらしい

悪い例

- 来ていただいたという感謝の気持ち無し
- 一方的に商品説明をし、顧客の都合無視
- 何をPRしたいのか全く分からない
- 通路に背を向けて立っている
- 常に椅子に座っている
- 誰一人声をかけてこない

▼ 今年度の出展状況等について ▼

今年度は当初27見本市に出展する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響による開催中止等があり、17見本市、延べ74社の企業様に出席していただく予定です。出展に際しては、感染拡大予防ガイドラインに沿ったうえで効果的なPRとなるよう取り組んでおります。（2021年1月末時点）

見本市は、新型コロナウイルス感染症の影響で商談の機会が減少している中、新規顧客の獲得・商談や新製品等のPRに有効活用できる場ですのでぜひご活用ください。出展企業様には、県内専任担当者と東京営業本部が連携し成約に向けたサポートを行っており、WEB商談にも個別に対応しております。

来年度も以下24見本市で高知県ブースを設置する予定ですので、外商に意欲的な企業様の出展をお待ちしております。

▼ 令和3年度 高知県ブース設置予定見本市 ▼

防災製品関連 (8)	食品加工機械関連 (4)	農林機械関連 (1)	生活雑貨関連 (5)	その他専門分野見本市 (6)
オフィス防災EXPO	西日本食品産業創造展	国際農業資材EXPO	インテリアライフスタイル	テクノ・オーシャン
中部ライフガードTEC	FOOMA JAPAN		国際雑貨EXPO関西	関西機械要素技術展
防犯防災総合展	シーフードショー東京		大阪インターナショナルギフトショー	国際福祉機器展
建設技術フェアin中部	シーフードショー大阪		東京インターナショナルギフトショー春	エコプロ
危機管理産業展			京都インターナショナルギフトショー	機械要素技術展
関西オフィス防災EXPO				国際ホテル・レストランショー
先進建設・防災・減災技術フェアin熊本				
鉄道技術展				

※上記の予定は、令和3年度予算の成立が前提であり、今後事業の内容に変更があり得ることをあらかじめご了承ください。
「展示会業界におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」等に対応し出展しております。ガイドラインURL:<https://www.nittenkyo.ne.jp/caution-jp/121>

海外展開支援 ～県内企業様の海外展開を積極的に支援しています～

当センターは県内企業様の海外展開の支援として、海外展示会への出展や商談サポート、商社とのマッチング、海外からの招聘商談、海外への同行支援や海外取引の相談対応などを行っています。

年々、海外での展示会や商談会に参加し、販路開拓に取り組む企業様も増えてきており、現地でのニーズを把握し、海外企業との商談の場として活用いただいております。

一方、課題としては展示会などで製品について高い評価はいただくものの、フォローの営業がうまくいかず成約に至らないというケースも多くあります。

当センターでは海外にネットワークを持つ国内商社とのネットワーク強化にも取り組み、海外ビジネスに精通したパートナーとして海外企業との商談を担ってもらうことで成約の可能性を高めるほか、輸出事務の軽減にもつながるよう県内企業様とのマッチング支援も行っています。

《今年度の取り組み》

今年度は新型コロナウイルスの影響による長引く渡航制限により、海外ビジネスの環境も大きく変わりました。予定していた海外で開催される展示会や商談会の中止が相次ぐなどの影響もありました。

このような中、上述の国内商社を高知県に招いてのマッチングや、オンラインを活用した海外企業や国内商社との商談・会議などのサポートも行っています。

また、海外展示会においてはサンプル出展でのPRや展示会場とオンラインでつないでの商談なども行っており、今月末には新たな取り組みとして、オンラインによる商談会も実施する予定です。

《2020年度の海外展示会実績》

	開催地域	開催月	展示会名	展示会(商談会)分野	高知県出展(参加)企業数
実施済	タイ	令和2年9月	SUBCON THAILAND 2020	機械・部品、等	4社 ※県内企業2社が、タイの現地法人等により出展。 その他2社がオンラインによる商談を実施。
	台湾	令和2年11月	ギフトショナリー台北	生活雑貨・木製品・紙製品	4社 ※サンプル出展
実施予定	台湾 香港 中国	令和3年2月(下旬)	オンライン商談会を開催	生活雑貨・木製品・紙製品	7社参加予定



コロナ禍においても企業様の海外展開を少しでも進めることができるよう、サポートしてまいりますので、海外展開にチャレンジしたい企業様は、ぜひお気軽にご相談ください。

【見本市、海外展開についてのお問い合わせ】

(公財)高知県産業振興センター内 ものづくり地産地消・外商センター 外商部 外商課

□ TEL: 088-845-7110 □ FAX: 088-846-2556

こちら高知県働き方改革推進支援センターです

こんにちは。第10回は、2021年4月に中小企業も適用される「短時間労働者及び有期雇用労働者の雇用管理の改善等に関する法律」の詳細（待遇の種類と待遇の違い）についてご紹介しますので、今一度ご確認ください。

今一度ご確認ください!! ~“働き方改革関連法”⑥同一労働同一賃金 待遇の種類/待遇の違い~

STEP2 <待遇の違いがあるか確認しましょう>

正社員等の待遇を書き出してみ、それぞれの待遇を、短時間・有期雇用労働者に対し、同じ水準で適用しているか確認しましょう

※労働契約期間に定めがないフルタイム労働者を正社員等と表記しています

<<待遇の種類>>

種類	例
給与関係	基本給、賞与、役職手当、精皆勤手当、通勤手当、食事手当 等
福利厚生	給食施設、休憩室、更衣室、慶弔休暇、病気休暇 等
その他	教育訓練、安全管理に関する措置 等

STEP3 <待遇の違いが不合理でないか確認しましょう>

適用していない、あるいは違う水準で適用している待遇について、その待遇の「目的」と「支給内容」を整理し、なぜ違いを設けているのか、その理由が不合理でないといえるのか考えてみましょう。

例

待遇	目的	支給内容	違いの理由
通勤手当	通勤に係る費用の補填	正社員のみ定期代を全額支給 パートは不支給	パートは正社員に比べ出勤日数が少ないため

▶パートであっても通勤費用はかかるので、不合理と言えます。対応方針を検討しましょう。

「基本給」については、短時間・有期雇用労働者への支給内容が、同様の仕事をしている正社員等と比べて、不合理に低い内容になっていないか確認する必要があります。



【「待遇差の説明」のポイント】

短時間・有期雇用労働者から求めがあった場合、正社員等との待遇差の内容や理由などについて説明をしなければなりません。短時間・有期雇用労働者と職務の内容等が最も近い正社員等を選んで比較し、

○どのような待遇差があるのか

○どのような理由で待遇差を設けているのか

について就業規則や給与規程（賃金表）などの資料を提示しながら説明しましょう。

なお、待遇差の説明を求めた労働者への不利益な取扱いは禁止されています。

全国社会保険労務士会連合会「働き方改革法改正で何が変わるの?同一労働同一賃金編」より抜粋、高知県働き方改革推進支援センター作成

当センターでは昨年4月からスタートした働き方改革関連法の内容や実務上の対応方法のご説明のほか、労務管理の方法や「時間外労働を削減したい」、「時間単位の年次有給休暇を考えてみたい」、「助成金を活用したい」などのご相談を魅力ある働く場づくりコーディネーター（全員が社会保険労務士）がお受けしています。個別訪問やお近くの商工会議所、商工会などでの定期的な出張相談も行っていますので、「同一労働同一賃金」の内容や考え方、対応策などもご相談ください。

また、ワークライフバランス推進企業認証の取得を希望する企業様には、高知県働き方改革推進支援センターのワークライフバランス推進アドバイザー（全員が社会保険労務士）がアドバイスをいたします。相談無料、秘密は厳守いたします。お気軽にご利用ください。

ご相談は→→(高知、幡多共通)



0120-899-869

Mail: hatarakikata@joho-kochi.or.jp 【高知県働き方改革推進支援センター】

ホームページはこちら→



【お問い合わせ】(公財)高知県産業振興センター内 高知県働き方改革推進支援センター

□〒781-5101 高知市布師田3992-2 高知県中小企業会館1階 □ 開所時間：8:30~17:15(土日・祝日、年末年始を除く)

幡多出張所 □四万十市中村小姓町46 中村商工会館2階 □ 開所時間：8:30~17:15(月・水・金:ただし祝日、年末年始を除く)

プラスチック代替素材利用促進分科会の活動報告

これまでのプラスチック材料よりも環境に優しい素材を用いた製品開発を支援するため、プラスチック代替素材利用促進分科会を令和2年4月から立ち上げ、12月現在で県内企業15社に参加していただいています。今回は、令和2年度に行った活動の内容についてご報告いたします。

この分科会活動は競輪の補助を受けています。



1. プラスチック代替素材を利用した試作

市販されているプラスチック代替素材を利用し、県内企業の独自技術を使った試作品の作製を行いました。右の写真は試作物の一例です。



バルカナイズドファイバー*の切削加工品



リサイクルPETフィルム/厚紙で作成した箱

*バルカナイズドファイバー：紙を原料としており、優れた生分解性を持ちながらポリカーボネート並みの強度がある材料。

2. プラスチック代替素材の物性調査

試作に当たり、プラスチック代替素材を県内企業の独自技術にマッチさせるため、溶融温度や組成といった必要な物性を調べました。

3. 各種講座の開催

生分解性プラスチック素材に関する講座やマイクロプラスチック問題に関する講座などを実施し、プラスチック代替材料に関する知識や高分子素材に関する知識を学んでいただきました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一部の講座は教材をDVDの形式で配布して実施しました。

ホームページへのメールニュース機能の追加

このたび、研修や行事等をお知らせしていたメールニュースについて見直しを行い、どなた様でも手軽に配信の登録や変更、削除を行えるよう、当センターのホームページにメールニュース機能を追加いたしました。また、「自社に関する無関係の分野の情報ばかり届く」といったご意見に対応するため、3つの研究部門（食品開発課、生産技術課、資源環境課）ごとに分けたメールニュースも新たにをご用意いたしました。この機会にぜひ登録をお願いいたします。

なお、登録フォームには当センターHPのトップ画面からアクセス可能です（下記画像参照）。

下記URLまたはQRコードもご利用ください。

【URL】<https://www.pref.kochi.lg.jp/itc/mailnews/>



メールニュースの登録や変更等は
こちらから可能です。

【お問い合わせ】 高知県工業技術センター Kochi Prefectural Industrial Technology Center 088-846-1111

お気軽にお問い合わせください。受付時間[平日 8:30 ~ 17:15] 最新情報はホームページをご覧ください。

HP [<https://www.pref.kochi.lg.jp/itc/>] Mail [151405@ken.pref.kochi.lg.jp]



メール送信にご利用ください。

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) からのお知らせ

■ SECURITY ACTION 自己宣言でセキュリティ対策を強化!

今日、パソコンなどのIT機器やインターネットが社会の隅々まで普及する一方で、標的型攻撃を含むサイバー攻撃による情報漏えい被害も少なからず起きています。被害に遭ってしまった企業は、自社だけでなく顧客や取引先にも重大な損害を与え、社会的信用を失う恐れすらあります。



中小企業の皆様にとっても情報セキュリティ対策は喫緊の課題といえるのではないのでしょうか。

とはいえ、「セキュリティ対策、何から手を付けたらいいかわからない」そんな皆様、まずは「SECURITY ACTION」自己宣言からはじめませんか。

まずはお手軽な「SECURITY ACTION」自己宣言制度の活用により、ご自身が取り組むセキュリティ対策を外部にアピールいただくことで、顧客からの評価及び信頼性の向上に役立てていただくことができます。

「SECURITY ACTION」(一つ星)宣言の実施手順は下記のとおりですので、ぜひご検討ください!



◆ SECURITY ACTION とは

<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/sa/index.html>



◆ 実施手順

○ステップ(1)

「情報セキュリティ5か条」
に取り組むことを宣言する

情報セキュリティ5か条

- 1 OSやソフトウェアは常に最新の状態にしよう!
- 2 ウイルス対策ソフトを導入しよう!
- 3 パスワードを強化しよう!
- 4 共有設定を見直そう!
- 5 脅威や攻撃の手口を知ろう!

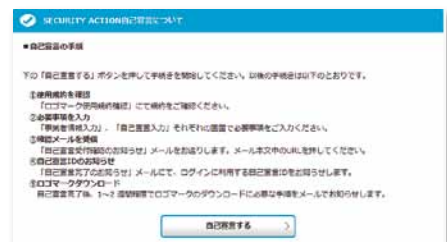
「情報セキュリティ5か条」に記載された対策例を参考にしてください。



○ステップ(2)

下記リンク先の自己宣言の手順を確認し、「自己宣言する」ボタンを選択する。

例:



<https://security-shien.ipa.go.jp/security/index.html>

◆ 「よくある質問」はこちらをご覧ください

<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/faq/index.html>

◆ 「お問い合わせ」はこちらから

<https://security-shien.ipa.go.jp/portal/inquiry/index.html>

区分	日時	名称	場所
セミナー	2月17日(水) 10:00~12:00	IT・インターネット活用セミナー 「スモール・ジャイアンツ (小さくても偉大な企業)と コア・バリュー経営」	【オンライン開催】 ■ Zoomにて行います。(IDは別途ご連絡させていただきます) https://zoom.us/ にてアカウントを作成しておいてください。 ■ 受講には常時接続環境(有線LAN、Wi-Fi)推奨です。 (注) 4G/LTEなど携帯電話の電波を使用した場合、月間契約通信料を超えると通信料が発生します。
セミナー	2月24日(水) 13:30~15:00	スマートフォンだけで 撮影~編集完了! 「スマホde動画セミナー」	ざばさんセンター1階 商談室2
セミナー	2月25日(木) 3月25日(木) 13:30~15:00	ネットショップの始め方 ~集客・売上UPのコツまで 「売れるネット通販セミナー」	ざばさんセンター1階 商談室2
セミナー	3月3日(水) 13:30~15:00	「Canvaでアイキャッチ画像を つくろう〈初級編〉セミナー」	ざばさんセンター1階 商談室2
セミナー	3月9日(火) 13:30~15:00	アカウント開設~売上アップの コツまで 「LINEの使い方セミナー」	ざばさんセンター1階 商談室2
セミナー	3月17日(水) 13:30~14:30	集客につなげる! 「Instagramの ビジネス活用入門セミナー」	ざばさんセンター1階 商談室2
【お問い合わせ】 高知県産業振興センター 088-845-6600			セミナーなどは事前に申し込みが必要です。受付方法やその他の詳細については、お問い合わせください。

公益財団法人 高知県産業振興センター

賛助会員 & 広告募集

中小企業支援機関(公財)高知県産業振興センターでは、賛助会員の皆さまに様々なサービスを企画し、役立つ情報を提供しています。

年会費は1口1万円で企業・団体・個人等どなたでもご入会いただけます。

ぜひご利用いただき、経営の向上にお役立てください。また有料広告の掲載についても随時募集しております。



賛助会員の皆さまにご利用いただける主なサービス

- 月刊情報誌「情報プラットフォーム」の無料配布
- 「情報プラットフォーム」での商品、製品、サービス紹介
- DVDの貸出
- 施設利用料金の割引
- IT 110番
- セミナーの開催
- 企業情報検索

- 「情報プラットフォーム」有料広告欄の費用を割引
- 〈通常〉裏表紙A4 1頁(県内・原版あり) ¥40,000
⇒ 《賛助会員》なら **¥20,000**
- 〈通常〉中面A4 1頁(県内・原版あり) ¥35,000
⇒ 《賛助会員》なら **¥18,000**

お問い合わせ

(公財)高知県産業振興センター 賛助会員担当

TEL 088-845-6600 FAX 088-846-2556



高知家の出会い・結婚・子育て応援団を募集しています。

1108の企業や団体が登録!!
(2020年12月末現在)

県民のみなさまの「出会い・結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をより早く叶えるため、「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」を創設し、官民協働で少子化対策を推進しています。

高知県は、ひとりよがりな生き方を尊重しながら、それぞれの希望に応じて「自分らしく」活躍することを応援しています。「結婚」などは、個人の自由であり、その他にも様々な生き方があるものと私たちは考えています。高知県は、それぞれの意思に基づいた生き方を応援するとともに、その一環として「出会い」や「結婚」への支援を希望する方々の応援をしています。

応援団の取組事例

…2月号、3月号の2回シリーズでご紹介します。

…………… 従業員の子育て支援に力を入れています ……………

卸売業 小売業 **旭食品株式会社**
従業員数…3,063人

保護者の働く姿を見学する「子ども参観日」親子の絆と職場の子育てへの理解を深める

社内活動実行委員会「旭家」が企画する夏休み子ども参観日に、幼児から中学生まで約40名が参加。スライド上映による仕事内容の紹介、事前に作成した子ども用名刺の交換、物流倉庫見学や冷凍庫内での体験学習も行っている。親子みんなで昼食を楽しんだ後は、休暇を取って一緒に帰宅。親と子の絆を強く、職場の育児への理解をより深める取り組みとなっている。



医療・福祉 **社会福祉法人 尽心会**
従業員数…81人

配偶者出産休暇の取得率100% 看護休暇の有給化により取得率アップ

取得率100%である配偶者出産休暇は、この数年で男性職員2名が取得した。子の看護休暇や育児休暇を取りやすい風土にするために、年次有給休暇の積極的な取得を職員に声がけし、取得率100%を目指している。有休取得を前提としたシフトや人員配置に努めている。看護休暇については、有給化したことにより男女ともに取得率がアップした。



商社(化学・ガスなど) 設備工事など **土佐ガス株式会社**
従業員数…153人

育児支援休暇制度と子弟教育手当支給 仕事と子育てを大切にしたい職場環境づくり

小学校就学前の子を持つ社員は、有給で年10日の育児支援休暇を取得できる。第二子以降の妻の出産時の兄弟の育児、子どもの急な発熱や園行事など、あらゆるケースで活用されている。また、子どもが専門学校・短大・大学に在学中は、子弟教育手当を毎月人数分支給し、経済的な負担の軽減に努めている。



…………… 地域の子育て家庭を支える活動をしています ……………

卸売業 小売業 **株式会社丸三**
従業員数…52人

イモ掘り体験学習を実施して 保育園児を畑に招待

近隣の畑を借り上げサツマイモの植え付けから栽培管理、収穫祭イベントを開催。秋にはびすた保育園の園児を招き、イモ掘り体験の場として無償で開放している。人材育成や社員の企画力を養うことにも役立っている。社員で構成された丸三バンドは、高知市で開催されているラ・ラ音楽祭にも出演。得意とするアニメソングなど、今後は地域の子どもたちに披露する機会を設けたい。



…………… WLBを推進し、働きやすい職場を目指しています ……………

サービス業 **株式会社地研(地質調査、建設コンサル)**
従業員数…26人

志を持ちながら仕事に取り組むために 社員同士の交流や講習会への参加を推進

従業員自らが企画する研修旅行やスポーツイベントを通じた交流、仕事から離れた体験や新しい体験を大切に考えている。また、講習会への参加や技術発表、資格取得の支援など、バランスの取れた知識と技術力の向上を全面的にバックアップ。女性活躍推進のため産前産後育児休暇の規定を充実させるなど、働きやすい環境づくりを行い従業員の定着を図っている。



情報通信業 **株式会社SHIFT PLUS**
従業員数…161人

社内ポータルサイトが社員同士の交流の場に 内容更新で活発になったコミュニケーション

社内情報の周知などに利用していた社内ポータルサイトを、コロナ禍の7月にリニューアル。コラムや雑記のアップがきっかけとなり、お互いの趣味の理解を深める機会や新たな話題が生まれるなど、コミュニケーションの活性化に繋がっている。また、感染症対策に伴うリモートワークの導入で、全社員にノートパソコンを支給し、在宅勤務の体制を整えた。



…………… 育児休暇・育児休業の取得を促進しています ……………

情報通信業 **株式会社テックス**
従業員数…45人

男性の育休取得実績あり 家族が参加できる親睦行事を開催

子どもの養育のため男性社員がそれぞれ2週間～半年の育休を取得。子育ての大変さを実感したとの声が聞かれた。育休希望時には、チーム内の仕事を振り分け、作業調整を図るなどの協力体制を敷いている。男性の占める割合が高く、独身男性の多い職場環境にあるため、育休制度の周知も行っている。子どもが参加しやすい社員旅行や親睦行事も実施。



医療・福祉 **社会福祉法人 橋の木福祉会**
従業員数…203人

育児と仕事の両立で悩む職員のための相談窓口を設置して要望に対応

相談窓口では、子育てしながら働く中での悩みにケースバイケースでアドバイス。勤務形態等の要望にも応えている。また、施設入居者10人を1単位としたユニット制の導入により、職員の勤務可能状況に応じた細やかなシフト調整ができ効率化につながっている。さらに、地域の中・小・高校への出前授業「福祉のお仕事」を開催。高齢者福祉について若い世代に伝える機会となっている。



県ではこんな支援を行っています

- 応援団交流会での事例紹介
 - 応援団通信での情報提供
 - 各種セミナー・講座への参加案内
- ※各企業の取り組み事例や、育児休暇・育児休業の取得促進に関する情報などを随時お知らせしています。



【お問い合わせ】高知県地域福祉部 少子対策課

〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号 TEL088-823-9642 FAX088-823-9658 E-mail 060501@ken.pref.kochi.lg.jp

応援団の登録や「育児休暇・育児休業取得宣言」についてはホームページからご確認ください。 **高知県 少子対策課**

